Infectious Diseases IA PAN **Weekly Report**

2012年第12週(3月19日~3月25日): 通巻第14巻第12号

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 感染症発生動向調查

厚生労働省/国立感染症研究所

マークをクリックするとそのページを見ることができます



P.2-6

<第12週>

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、 過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



< 今週は該当記事はありません >



感染性胃腸炎関連ウイルス 2011/12シーズン



速報 P.9-14

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2006年(4月)~2010年



インフルエンザ/髄膜炎菌性疾患:アフリカ髄膜炎ベルトにおけ る状況 / 鳥インフルエンザ - インドネシアにおける状況



感染症の話 P.22

< 今週はお休みです >



読者のコーナー <今週は該当記事は ありません >



グラフ総覧(12週) P.23-28



12週のデータ P.29-41





発生動向総覧

< 第12週コメント > 3月28日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。 それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核324例

3類感染症

細菌性赤痢7例 菌種: S. flexneri(B群)3例__感染地域: インド2例、ベトナム1例

S. boydii(C群)1例_...感染地域: バングラデシュ

S. sonnei(D群)3例__感染地域: 大阪府1例*、熊本県1例、 フィリピン1例

* 保育所に関連した集団発生の感染者

腸管出血性大腸菌感染症25例(有症者6例、うちHUS なし)

感染地域:国内25例

国内の感染地域:熊本県12例**、岩手県4例、北海道1例、宮城県1例、茨城県1例、東京都1例、神奈川県1例、 愛知県1例、滋賀県1例、島根県1例、不明1例

** 保育所に関連した集団発生の感染者(O26 VT1)

年齢群: 0歳(1例) 1歳(4例) 2歳(3例) 4歳(2例) 6歳(1例) 7歳(1例) 8歳(1例) 20代(4例) 30代(5例) 40代 (1例) 70代(2例)

血清型・毒素型: O26 VT1(16例)、O157 VT1・VT2(4例)、O91 VT1(2例)、O111 VT1(1例)、その他・不明(2例)

累積報告数: 137例(有症者65例、うちHUS 3例. 死亡なし)

腸チフス1例 感染地域:インド

4類感染症

E型肝炎1例 感染地域:北海道__感染源:不明

A型肝炎1例 感染地域:インド

コクシジオイデス症1例

感染地域:米国(アリゾナ州)

レジオネラ症5例(肺炎型5例)

感染地域:茨城県1例、埼玉県1例、神奈川県1例、大阪府1例、福

岡県/インドネシア1例

年齢群:60代(1例),70代(1例),80代(1例),90代(2例)

5類感染症

アメーバ赤痢10例(腸管アメーバ症8例、腸管外アメーバ症1例、腸管及び腸管外アメーバ症1例)

感染地域: 東京都1例、愛媛県1例、国内(都道府県不明)4例、中 国1例、フィリピン1例、タイ/フィリピン1例、国外(国不

明)1例

感染経路:経口感染4例、性的接触3例(異性間2例、同性間1例) 不明3例

ウイルス性肝炎1例 C型 感染経路: 不明

急性脳炎3例 インフルエンザウイルスB型1例_年齢群:1歳

病原体不明2例__年齢群:7歳(1例),10代(1例)

クロイツフェルト・ヤコブ病2例

孤発性プリオン病古典型2例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例

年齢群:90代

後天性免疫不全症候群11例[AIDS 3例(うち1例死亡)無症候8例]

感染地域: 国内10例、国内・国外不明1例

感染経路:性的接触9例(異性間1例、同性間8例),不明2例

ジアルジア症1例 感染地域:大阪府

梅毒6例(早期顕症|期1例、早期顕症|期4例、無症候1例)

破傷風1例 年齢群:70代 バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

遺伝子型: VanC 菌検出検体: 血液

風しん1例(臨床診断例)

感染地域:国内(都道府県不明)

年齢群: 25~29歳

累積報告数:91例(検査診断例68例、臨床診断例23例)

麻しん3例[麻しん(検査診断例2例、臨床診断例1例)]

感染地域:神奈川県1例、愛知県1例、タイ1例

年齢群:1歳(1例),10~14歳(1例),20~24歳(1例)

累積報告数:86例[麻しん(検査診断例61例、臨床診断例9例)

修飾麻しん(検査診断例16例)〕

遺伝子型別累積報告数(遺伝子型が同定・報告された症例のみ): 44例

D4:4例__感染地域:千葉県1例、東京都1例、東京都/ベトナム 1例、大阪府/英国1例

D8:32例__感染地域:愛知県15例、千葉県5例、山梨県2例、岐阜県2例、都道府県不明7例、タイ1例

D9:8例__感染地域:岡山県4例、栃木県1例、千葉県1例、東京 都1例、フィリピン1例 (補)2012年第11週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例(菌種: S. sonnei (D群)_感染地域:山形県)、デング熱1例(感染地域:スリランカ)、マラリア1例(熱帯熱_感染地域:ウガンダ)、レジオネラ症1例(感染地域:山形県(温泉))、急性脳炎2例(病原体不明2例_年齢群:3歳(1例)、4歳(1例)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例(70代(1例.死亡)、80代(1例)、90代(1例.死亡))などの報告があった。

- 0.88

- 0.90

- 0.99

- 0.80

- 1.07 **I**

- 0.75 [

- 0.73

平均 - 1SD

- 1.71

- 1.63 **I**

- 1.60

平均 - 2SD

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所) インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所) 眼科定点(約600カ所) 基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。



- 0.03

平均

- 0.32

0.21



SD:標準偏差

当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

平均 + 2SD

平均 + 1SD

インフルエンザ

定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別では福島県(34.26)山形県(30.71)福井県(25.47)岩手県(24.14)新潟県(24.00)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は950例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約80%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(0.75)熊本県(0.67)富山県(0.66)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では富山県(5.76)鳥取県(4.32)北海道(4.01)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では福岡県(12.6)山口県(12.3)大分県(11.9)が多い。

水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(3.08) 鹿児島県(2.83) 福井県(2.64)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(0.85) 滋賀県(0.56) 富山県(0.38)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では鳥取県(1.11) 徳島県(0.61) 愛媛県(0.54)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(0.14) 高知県(0.13) 広島県(0.07)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では熊本県(0.10) 徳島県(0.09) 大分県(0.08)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(2.00) 佐賀県(1.50) 愛媛県(1.27)が多い。

基幹定点報告疾患

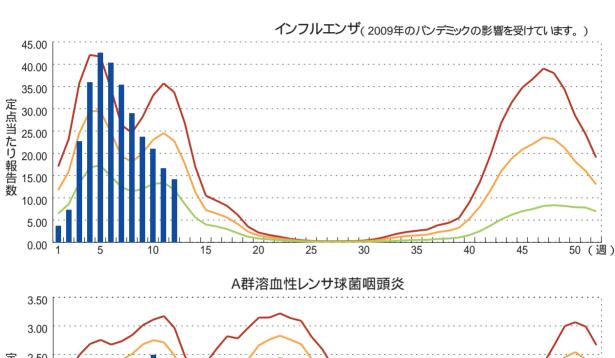
マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(4.71)宮城県(2.33)埼玉県(2.11)が多い。

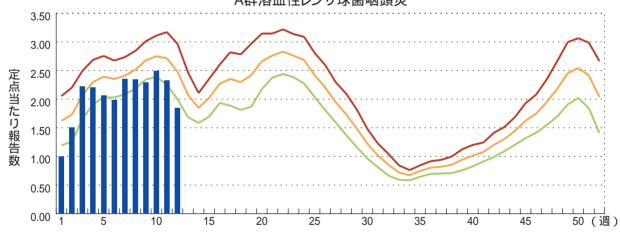
図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2012年第12週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



*過去5年間の平均:前週、当該週、後週の合計15週の平均







Ministry of Health, Labour and Welfare / National Institute of Infectious Diseases





病原体情報

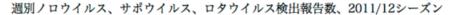
* グラフはIASRホームページ(http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html)からの引用です。

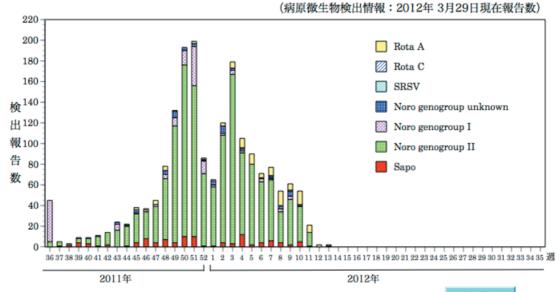
国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2012年3月29日現在報告分)

感染性胃腸炎関連ウイルス 2011/12シーズン

2011/12シーズン最初の2011年第36週に大阪府で幼稚園での集団発生例からノロウイルス genogroup(G)1/4が検出されている。第39週以降、散発例・集団発生例からノロウイルスGIIの報告が増加し、第50週をピークに一旦減少したが、2012年第2~3週に再び増加し、第4週以降減少している。

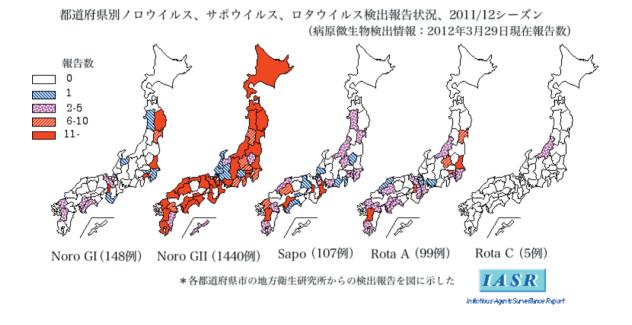




*各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



2011年第36週~2012年第13週にノロウイルスGIが15都府県から148件(うち、GI/4 46件、GI/14 11件、GI/8 10件、GI/1、GI/2、GI/3 各2件、GI/NT 75件)、ノロウイルスGIIが44都道府県から1,440件(うち、GII/4 295件、GII/2 47件、GII/12 24件、GII/13 22件、GII/6 20件、GII/3 19件、GII/7 1件、GII/NT 1,012件)、サポウイルスが24都府県から107件(うち、GI 46件、GII 4件)報告されている。また、A群ロタウイルスが21都府県から99件報告されており、このうち遺伝子型G1が17件、G2が5件、G3が3件、G9が1件であった。この他にC群ロタウイルスが新潟県から5件、アストロウイルスが4府県から8件(うち1型1件)報告されている。



ノロウイルス検出速報は http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.htmlを参照ください。



<u>劇症型溶血性レンサ球菌感染症</u> 2006年(4月)~2010年 (2012年3月23日現在)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症(Streptococcal toxic shock-like syndrome(STSS))は、A群溶血性レンサ球菌の感染によって起こる疾患として、1987年に米国で最初に報告され、わが国での最初の典型的な症例は1992年に報告された。発熱、疼痛(通常四肢の疼痛)で突発的に発症し、急速に病状が進行して、発病後数十時間以内には軟部組織壊死、急性腎不全、成人型呼吸窮迫症候群(ARDS)、播種性血管内凝固症候群(DIC)などを引き起こし、ショック状態となる。その致命率は30%以上に及ぶとされる。

本疾患は、感染症法(1999年4月1日施行)に基づく全数把握疾患として、診断したすべての医師は7日以内に届け出ることが義務付けられており、その発生動向が調査されている。届出基準は、1999年4月~2006年3月までの期間においては、1)原因菌としてA群溶血性レンサ球菌の検出(血液または通常ならば菌の生息しない臓器から)、2)ショック症状、3)以下の症状のうち3つ以上:肝不全、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、DIC、軟部組織炎(壊死性筋膜炎を含む)、全身性紅斑性発疹、痙攣・意識消失などの中枢神経症状、の1)~3)のすべて満たすものであった(1999年4月から2006年3月までの報告はIDWR2007年第38号速報p.9~13参照:http://idsc.nih.go.jp/disease/invasiveA/idwr200738.html)。2006年4月からは、1)の原因菌についてはA群に限らず溶血を示すレンサ球菌すべてとされ、また3)については3つ以上から2つ以上に変更された。今回は、届出基準変更後の2006年4月から2010年までの報告分についてまとめた。

2006年4月~2010年の報告は、年別に2006年(4~12月)76例、2007年93例、2008年106例、2009年103例、2010年122例で、報告総数は500例であった(図1)。届出基準の変更前は、2002年を除き年間50~60例程度の報告であったのに対し、変更後はおよそ100例前後の報告となっている。罹患率にすると、人口10万対で2007年0.07人、2008年0.08人、2009年0.08人、2010年0.10人となる。

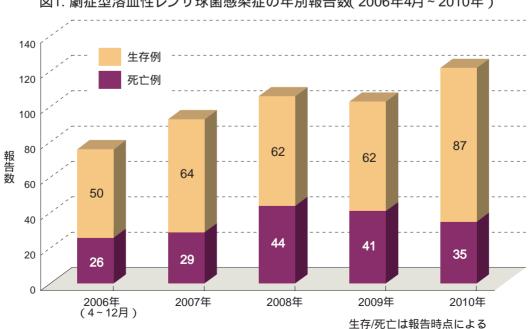


図1. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の年別報告数(2006年4月~2010年)

500例について、報告のあった都道府県別でみると、全ての都道府県から報告されており、東京都(67例)、愛知県(37例)、神奈川県(35例)、大阪府(31例)、兵庫県(29例)、埼玉県(27例)の順に多かった(図2)。人口10万人当たりに換算すると、島根県(1.12)、富山県(0.91)、滋賀県(0.71)、鳥取県(0.68)、徳島県(0.64)、香川県(0.60)の順に多かった。

感染地域(確定または推定として報告されたもの)は、すべて国内であった。都道府県別では、東京都(61例)愛知県(35例)神奈川県(30例)埼玉県(28例)大阪府(27例)兵庫県(26例)で、報告都道府県とほぼ同じであった。

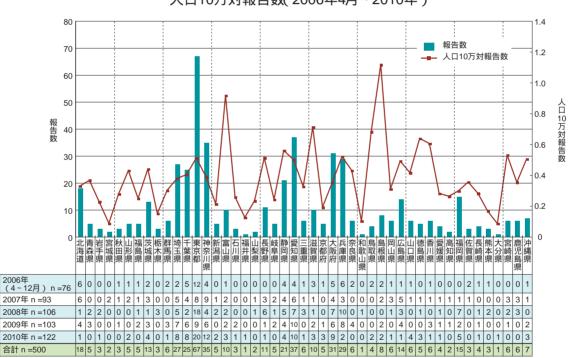
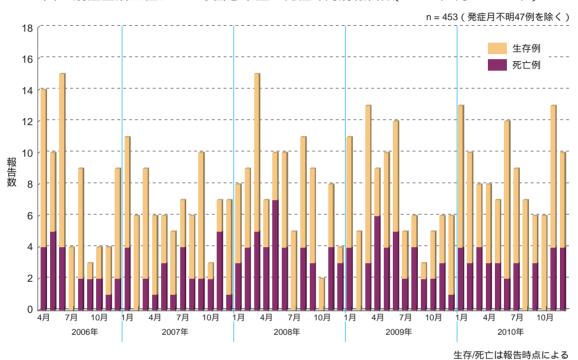


図2. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の都道府県別報告数と 人口10万対報告数(2006年4月~2010年)

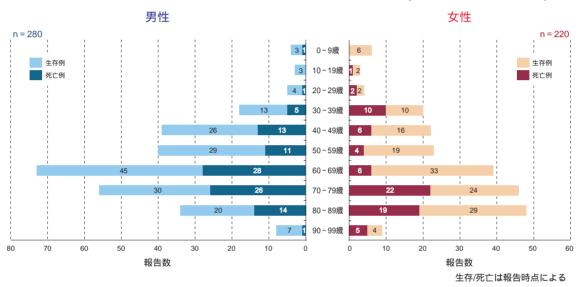
発症月では、500例のうち発症月の記載があったもの453例)、年月別にみると2006年6月と2008年3月が各15例で最も多く、次いで2006年4月が14例で多かったが、年により報告の多い月は異なっていた(図3)。

図3. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の発症年月別報告数(2006年4月~2010年)



性別では男性280例、女性220例(男性/女性=1.3/1)であった。年齢の中央値は65歳($0 \sim 98$ 歳) 男性63歳($0 \sim 98$ 歳) 女性68歳($0 \sim 97$ 歳)]であった。性別に年齢群(10歳毎)別報告数をみると、男女ともに30代から増加し、男性は60代が、女性は80代がピークであった(図4)。なお、報告は任意であるが、女性のうち妊産婦と記載されたものは3例(20代1例、30代1例、40代1例)であった。



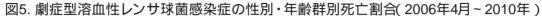


死亡の報告は500例中175例あり、死亡割合(報告上の致命率)は35%[男性280例中100例(36%)女性220例中75例(34%)]であった(図4)。死亡者の年齢中央値は69歳(4~97歳)[男性64.5歳(4~92歳)女性75歳(16~97歳)]であった。

死亡の割合を年齢群別にみると、全体では70代が47%で最も高く、次いで30代と80歳以上が39%であった(図5)。さらに性別にみると、男性では年齢が高くなるにつれて死亡割合が増加し、70代(46%)が最も高かったのに対し、女性では20代(50%)、30代(50%)、70代(48%)と3つの年代で高い死亡割合が認められた(図4、図5)。妊産婦3例のうち死亡は2例(20代1例、30代1例)であった。

発症から死亡までの日数(死亡175例のうち発症日と死亡日の記載があったものは157例)は、1日、2日、0日、発症当日、4日の順に多く、1日以内が67例(43%)、2日以内が104例(66%)であり、7日以内では149例(95%)であった(図6)。

死亡の報告には、届出時点以降の死亡例が十分反映されていない可能性がある。本疾患の 致死率をより正確に把握する上で、死亡の確認は重要なので、届出後に判明した場合には追加 報告をお願いしている。



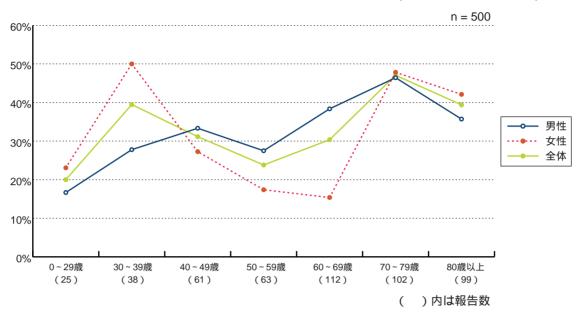
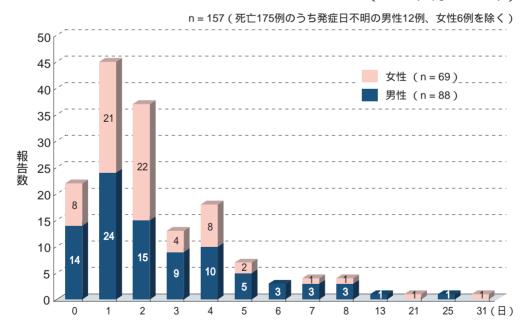


図6. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症死亡例の発症から死亡までの日数別報告数 (2006年4月~2010年)



検出された病原体(溶血を示すレンサ球菌)の血清群別では、A群が354例(71%)で最も多く、次いでG群93例(19%) B群15例(3%) C群12例(2%) A群およびB群1例、C群およびG群1例、血清群不明24例(5%)であった(図7)。このうち死亡175例における血清群は、A群が126例(36%=126/354) G群33例(35%=33/93) C群5例(42%=5/12) B群3例(20%=3/15) A群およびB群1例、血清群不明7例であった。

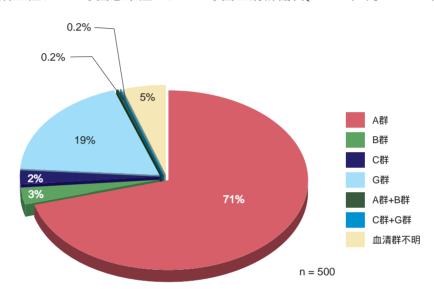


図7. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症のレンサ球菌血清群割合(2006年4月~2010年)

感染経路(確定または推定として報告されたもの)は、500例中最も多かったのが創傷感染で209例(42%)次いで飛沫・飛沫核感染33例(7%)接触感染5例、経口感染3例、飛沫・飛沫核感染および接触感染2例、創傷感染および飛沫・飛沫核感染1例、創傷感染および接触感染1例、その他24例(5%)不明221例(44%)であった。その他として報告された主な感染経路には、経皮感染7例、経膣感染3例、尿路感染2例などがあった。

報告された症状のうち、届出票にあらかじめ記載されている症状では、必須であるショックを除き、軟部組織炎(壊死性筋膜炎を含む)351例(70%)、DIC 339例(68%)、腎不全337例(67%)、肝不全151例(30%)、急性呼吸窮迫症候群146例(29%)、中枢神経症状123例(25%)、全身性紅斑性発疹81例(16%)であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、致命率の高い重篤な疾患であるが、一方でその発生機序は未だ解明されていない。重症化の危険因子と考えられる基礎疾患や先行感染症の存在などの臨床的情報、また、A群溶血性レンサ球菌の病原因子とされるM蛋白の型別や、薬剤感受性の把握を含めた病原体の詳細な解析は、本症の予防や診断・治療に非常に重要である。本疾患の病原体サーベイランスは、地方衛生研究所・国立感染症研究所から成る「衛生微生物協議会溶血性レンサ球菌レファレンスセンター」で行われている(http://idsc.nih.go.jp/pathogen/refer/str2010-1.pdf)。本症の対策に資するため、可能な限り菌株を収集し、解析結果を還元することが必要であるので、関係者の協力をお願いする。





海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュース等を掲載 しています。

インフルエンザ

2012年3月16日 - 更新155

【要約】

- ・北半球の温帯地域諸国では引き続きインフルエンザの活発な感染伝播が持続しており、北米、 中国北部とヨーロッパのいくつかの国で活動性が上がっている。南ヨーロッパと北アフリカの いくつかの国々では、日本や韓国と同様にピークを迎えている。
- ・熱帯地域諸国のほとんどは、インフルエンザの活動性は低いレベルであると報告している。
- ・北半球の温帯地域諸国のほとんどにおいて最も多く検出されている型あるいは亜型は、インフルエンザウイルスA(H3N2)である。メキシコや中央アメリカにおいてはインフルエンザウイルスA(H1N1)pdm09が優位な亜型であり、中国及びその周辺諸国では未だインフルエンザウイルスB型が優位であることが報告されている。
- ・抗ウイルス薬への耐性は非常に低いレベルで観察され、前シーズンに報告されたレベルを著しくは超えていない。

【北半球温帯地域諸国】

全体として北半球の温帯地域諸国におけるインフルエンザの活動性は未だに上昇し続けている。米国や英国を含むいくつかの国では、前年の流行に比べ穏やかである。しかしながら、その他の国々における活動性は前年と同等か、より高いレベルに達している。

・北アメリカ

カナダでは、インフルエンザの全体的な活動性は過去数週間にわたって増加し続けている。 国全体のインフルエンザ様疾患(influenza-like illness: ILI)の相談件数は、2月の最終週は人口 1,000人当たり31.3人から38.6人に増加し、インフルエンザ陽性となった検体の比率は、10.5%か ら17.9%に増加している。施設関連のインフルエンザのアウトブレイクも2月後半の2週で著しく 増加した。第9週には、長期入所施設13カ所、学校9カ所、病院1カ所、その他の施設6カ所の計 29のアウトブレイクが報告された。今シーズンは、インフルエンザ関連の小児入院例が160例報 告され、そのうちの69%が5歳未満の小児であった。 これらの入院例の53%はインフルエンザウ イルスA型に伴っていた。今シーズンの成人のインフルエンザ関連の入院は226例であり、この うち47.8%は65歳以上の患者であった。ILIの活動性は例年と同等であり、現時点での施設関 連のアウトブレイクの人数は前年の同時期よりむしろ低いと思われる。B型は陽性検体の増加が 報告されており、全インフルエンザ検体中、シーズン始めの36.5%から46.6%まで増加している。 A型とB型は年齢ごとに均等に罹患している訳ではなく、B型は第9週には5歳未満の小児から検 出されたインフルエンザウイルスの50%であったが、65歳以上の成人から検出されたウイルスの わずか29.3%であった。A(H1N1)pdm09は、今シーズンは5歳未満の小児で亜型が判明したA 型のうちの30.2%であったが、65歳以上の成人ではわずか8.1%であった。シーズンの開始以来、 A(H3N2)と判明した107例中、94.4%が現在のインフルエンザワクチン株(A/Perth/16/2009)と抗 原的に類似していた。 同様に、A(H1N1)pdm09と判明した87例中、98.9%がワクチン株である A/California/07/2009と抗原性が類似していた。B型と判明したうち、55.3%はB/Brisbane/60/2008 ワクチン株と抗原性が類似し、44.7%は山形系統に属する参照ウイルスB/Wisconsin/01/2010様 と抗原性が類似していた。シーズンの開始以来抗ウイルス薬の耐性を検査した全てのウイルス

は、オセルタミビル(451検体)とザナミビル(450検体)に対して感受性であった。

米国ではインフルエンザの活動性はいくつかの地域において上昇しているが、ILIは国全体と して比較的低いままであり、外来患者のわずか2%しか報告されていない。国レベルでの季節性 のILI受診閾値は2.4%である。インフルエンザが陽性となった呼吸器系検体の比率は18.4%から 21.3%に増加した。3つの州(アラバマ、ミズーリ、オクラホマ)ではILIの活動性は高く、2つの州 (イリノイ、カンサス)では中等度のILIの活動性を示し、他のすべての州では低いかごくわずかな 活動性を報告した。インフルエンザの活動性が広範囲に及んでいると報告されている州は、こ の1週間に6州から9州に増加した。122都市での定点報告では、肺炎とインフルエンザによる死 亡の割合は、国の流行閾値を下回っている。インフルエンザ関連の小児死亡例1例はA(H3)関 連であったとの報告があり、今シーズンの18歳以下の小児死亡例は計5例となった。インフル エンザ関連で入院となった検査確定例593例のうち、521例(87.9%)はA型であり、61例(10.3%) はB型、1例(0.2%)はA型とB型の混合感染であった。これらのA型の症例のうち、185例はA (H3N2)で、61例はA(H1N1)pdm09によるものであった。成人のインフルエンザによる入院例で 最も一般的に報告されていた基礎疾患は、慢性肺疾患、代謝異常症、肥満症であった。小児 のインフルエンザによる入院例で最も多く報告されていた基礎疾患は、慢性肺疾患、喘息、神経 疾患であった。インフルエンザで入院した小児の50%は、何も基礎疾患はなかった。A型はほ とんどの地域で最も多く検出されるウイルスであり、3月の第1週は全体の94.7%であった。A (H3N2)は、シーズン開始以来、A型の亜型の中では76.8%を数えていたが、A(H1N1)pdm09に 比べて徐々にその割合は減少している。3月の第1週には、A(H3N2)はインフルエンザウイルス の亜型の中では、わずか64.7%であった。 今シーズン現在までに抗原性を解析したインフルエン ザウイルスのうち、A(H3N2)の407株のうち78.4%と、A(H1N1)pdm09の127株のうち98.4%が、 現行の3価の季節性インフルエンザワクチンに含まれるウイルスと類似性があった。このことは、 ワクチンと類似性のないA(H3N2)の検出が著しく増加していることを示している。 B型78株のう ち36株(46.2%)はVictoria系統に属し、またB/Brisbane/60/2008様株であり、2011/2012シーズン の北半球のワクチンの成分であった。今シーズンに検査を行ったA型439株とB型79株は、A型 の1株を除いてすべてノイラミニダーゼ阻害の抗ウイルス薬であるオセルタミビルやザナミビルに 感受性があった。耐性ウイルスの1株は、A(H1N1)pdm09であった。

メキシコでは、インフルエンザが陽性であった検体の割合は3月初旬には30%から25%まで低下し、これは年の始め以来最も低くなっている。 A(H1N1)pdm09は、未だ最も一般的に検出される亜型である。

・ヨーロッパ

ヨーロッパでは、大陸の大半で呼吸器疾患の活動レベルは不変あるいは上昇しているとの報告が続いているが、アルバニアとブルガリア、イタリア、スペインでは、ILIと急性呼吸器疾患(acute respiratory illness: ARI)の相談件数の割合は現在減少傾向が報告されている。3月の第1週目第10週)に定点の外来クリニックで1,708件の呼吸器検体が採取され、そのうち723件(42%)がインフルエンザウイルス陽性で、ピーク時の46%からは2週間連続して低下している。ILIの受診件数の割合は、ほとんどの国において2010/2011シーズンに報告されたレベルを下回っているが、これはすべての国における状況ではなく、いくつかの国においては昨年のレベルを上回っている。重症急性呼吸器感染症(severe acute respiratory illness: SARI)の症例数は2010/2011シーズンの同時期の報告よりも低いが、シーズンが続けば上がる可能性がある。ヨーロッパ死亡モニタリングプロジェクト(The European Mortality Monitoring Project: EuroMOMO)から報告さ

れた全死因死亡率は、シーズン早期には低かったが、過去数週間は65歳を超える年齢で増加していた。ヨーロッパ全体では、インフルエンザの検査確定例のうち91%がA型で、9%がB型であった。シーズン開始より、A(H3N2)が亜型別されたA型の98.8%と最も多く検出が続いている。A型はシーズン開始よりすべて現在のワクチン株と類似性があった。一方、検査をしたB型12株のうち10株が山形系統であった。検査された245のウイルス株のうち抗ウイルス薬に耐性のあるものはなかった。

・北部アフリカと地中海東部

北部アフリカと東地中海地域におけるインフルエンザの活動性は、年の初めにすでにピークを迎えており、インフルエンザ陽性の検体数は過去数週間で減少している。 A(H3N2)がシーズンを通して最も多く検出された亜型であったが、A(H1N1)pdm09の割合が増加しており、この1週間では最も多い亜型となった。

・アジア温帯地域諸国

中国北部では、国全体の定点病院におけるILIの割合は前週よりわずかに増加し現在は3%を超えているが、1月のピークよりは低い。全体の割合は昨シーズンと同様である。モンゴルにおけるILIの割合は増加しており、国の警戒レベルを超えている。入院患者の中で肺炎の患者の割合もまた過去3週間で急激に増加しており、2010/2011シーズンのピークよりも高くなっている。いずれの国においても、B型が優位に流行している型である。日本と韓国においては、1月と2月のピーク以降低下傾向である。シーズンを通して、日本と韓国においてはA(H3N2)が主な流行ウイルスであったが、過去数週間でB型の割合が増加している。

【熱帯地域諸国】

・アメリカ大陸の熱帯地域諸国 南アメリカの熱帯地域諸国では、インフルエンザの伝播は低いか検出できないレベルと報告し ている。

サハラ以南のアフリカ

サハラ以南のアフリカにおいては、得られるデータでは多くの国々でインフルエンザの活動性が低いことを示している。

・アジアの熱帯地域諸国

全体としてアジアの熱帯地域諸国におけるインフルエンザの活動性は、減少または低く、B型が最も多く検出されている。

中国南部では、国全体の定点病院におけるILIの受診件数の割合はわずかに減少し、現在は3%以下と報告した。第9週に中国南部で検査をされた1,173件の検体のうち552件(47.1%)がインフルエンザ陽性であった。流行しているほとんどのインフルエンザウイルスはB型(陽性検体の71%)であり、A型の亜型は100%がA(H3N2)であった。中国と香港特別行政区においては、全体のインフルエンザの活動性は2月中旬にピークを迎えたようである。流行しているほとんどのインフルエンザウイルスはB型(78%)であった。2012年1月13日以降、18歳以上の患者の中でインフルエンザ関連の集中治療室入院または死亡のモニタリングでは、検査確定例が57例あり、うち34例が死亡した。

【南半球温帯地域諸国】

南アメリカ、オーストラリアおよびニュージーランドの温帯地域においては、インフルエンザの活動性は流行間期のレベルである。

【世界におけるインフルエンザウイルスの活動性】

第8~9週(2012年2月19日~3月3日)のFluNetからの報告によれば、89の国と地域及び領土の国家インフルエンザセンターと他の国家レベルインフルエンザ検査室がデータを報告した。WHOのGISRS検査室は46,916件以上の検体を検査した。14,235件がインフルエンザウイルス陽性で、そのうち10,965件(77%)がA型、3,270件(23%)がB型で、亜型別されたA型のうち794件(13.2%)がA(H1N1)pdm09、5,234件(86.8%)がA(H3N2)であった。解析されたB型のうち、475件(47.5%)が山形系統に属し、525件(52.5%)がビクトリア系統であった。前回の報告に比べ、ビクトリア系統に対する山形系統の割合が増加している。

要約

2012年の第8~9週において、検査確定されたインフルエンザの活動性は、北半球の多くの国々で依然増加している。

A(H3N2)は世界的に検出されるウイルスの亜型の中で未だ優位であった。概してA(H1N1) pdm09は低かった。B型の活動性は多くの国々で高くなっており、中国においては依然として流行ウイルスの主流である。ヨーロッパではA(H3N2)の地域的及び広範囲に及ぶアウトブレイクが報告されており、いくつかの国々ではB型との混合流行の増加も報告されている。

カナダと米国においてはA(H3N2)の流行が続いているが、B型の検出件数が前報告期間よりも増加している。B型は、B/山形とB/Victoria様系統ともいずれの国においてもほぼ同じ割合で検出された。A(H1N1)pdm09は、地域的な流行が報告されているメキシコを除いて、散発的ではあるが検出が続いている。

アジアでは、A(H3N2)とB型の活動性が依然高まっており、中国と香港特別行政区においてはB型が優位である。A(H3N2)は日本において優位な状態が続いているが、前週よりもさらに低いレベルにある。A(H1N1)odm09は多くの国々で非常に低いレベルで検出されている。

南半球では、インフルエンザの活動性は低いレベルで続いており、散発的に検出されるウイルスのほとんどはA(H3N2)である。

北半球の2012/2013シーズンのインフルエンザワクチン株の組成についてWHOの勧告に関する包括的な報告は、Weekly Epidemiological Recordに発表されている。

北半球の2012/2013シーズンのインフルエンザワクチン株の組成についての更新された勧告に関するQ&Aは、WHOのWebサイトで最近公開された。

パンデミック事前準備のための、A(H5N1)およびA(H9N2)を含むワクチン候補株の選択と開発に関する評価報告書はWeekly Epidemiological Recordに公表されている。

【査読された(信頼できる)文献から】

2012年1月17日に、the Proceedings of the National Academy of Sciencesは、Tongらによるグアテマラの2カ所で捕獲されたyellow-shouldered batにおいて、新しいヘモアグルチニン(HA)亜型 (H17)をもつインフルエンザウイルスA型を同定した 1 。加えてすべての他の7つの遺伝子分節は、これまで知られているA型ウイルスから遺伝学的に遠く離れていた。2年間にわたって捕獲された316匹のコウモリのうち3匹がconsensus-degenerate RT-PCR/PCRプライマーを使用した方

法でウイルス陽性となった。コウモリのウイルスのHAは、他のすでに知られている16のHA亜型とほぼ同じ時期に分岐したと推定されている。このウイルスは他のすべての16の亜型とアミノ酸レベルで45%の相同性をもち、他の亜型間での相同性と似たような状況であった。遺伝子解析により、コウモリのウイルスは既存のA型、B型、C型からかなり離れているが、グループ1のHAにより近い関連性があるためH17とされた。もちろん明確な分類学上の整理が必要である。ノイラミニダーゼ(NA)遺伝子もまた他の知られているインフルエンザウイルスから大きく隔たっており、他のインフルエンザウイルスとは、より古い先祖との関連性を示唆している。ニワトリ胚細胞や培養細胞でウイルスを増殖させることはできなかったが、コウモリのウイルス遺伝子の一部はヒトのウイルス遺伝子と共通の部分もあるようで、ヒトとコウモリのウイルスのリアソータントは不可能ではないのかもしれない。著者らは、この発見はインフルエンザウイルスの自然宿主の幅を広げる可能性があり、コウモリの集団のなかでどのようにしてウイルスが維持されているのか、他にも自然宿主があるのかどうかも含めて更なる研究が必要であると結論している。

コメント:

インフルエンザウイルスは以前にもコウモリに感染することが報告されており、この新しいウイルスの公衆衛生学的な重要性はよくわからない。ヒト世界におけるパンデミックの出現は、1918年と2009年のブタ由来のA(H1N1)のアウトブレイクにみられるように、しばしばほ乳類の宿主にさかのぼることができる²。両方とも、ウイルスは長期間にわたってブタの集団で循環し、ヒトにおいてアウトブレイクが発生する以前に、重要な遺伝子の組み換えが進行していた。このH17ウイルスの進化論的遺伝学を理解することは、ヒトにおけるアウトブレイクの将来の潜在的なリスクを軽減することに貢献できるかもしれない³。最近ヘンドラウイルスやニパウイルスなど、コウモリから他のウイルスが出現していることもあり、コウモリの生息地を更に侵害することによって、直接的あるいは他のほ乳類を介する新たなウイルスのヒトへの感染伝播の機会を増加させるのではないかと懸念されている。

- Tong, S., Lia, Y., Rivailler, P., Conrardy, C., Castillo, D.A.A., Chen, L., Recuenco, S., Ellison, J.A., Davis, C.T., York, I.A., Turmelle, A.S., Moran, D., Rogers, S., Shi, M., Tao, Y., Weil, M.R., Tang, K., Rowe, L.A., Sammons, S., Xu, X., Frace, M., Lindblade, K.A., Cox, N.J., Anderson, L.J., Rupprecht, C.E., Donis, R.O. A distinct lineage of influenza A virus from bats. Proceedings of the National Academy of Sciences, 2012.
- 2. Nguyen-Van-Tam, J.S., Hampson, A.W. The epidemiology and clinical impact of pandemic influenza. Vaccine, 2003;21(16):1762-1768.
- 3. Smith, G.J.D., Vijaykrishna, D., Bahl, J., Lycett, S.J., Worobey, M., Pybus, O.G., Ma, S.K., Cheung, C.L., Raghwani, J., Bhatt, S., Peiris, J.S.M., Guan, Y., Rambaut, A. Origins and evolutionary genomics of the 2009 swine-origin H1N1 influenza A epidemic. Nature, 2009;459:1122-1125

髄膜炎菌性疾患:アフリカ髄膜炎ベルトにおける状況

2012年3月23日

1月1日~3月11日(第10疫学週まで)に、髄膜炎菌性疾患のアウトブレイクがベニン、ブルキナファソ、チャド、コートジボワールとガーナの15の地区において報告された(表参照)。

国 ¹	髄膜炎 疑い例数	死亡数	致命率 (%)	優位な病原体	流行中の地域数
ベニン	381	38	10	NmW135	3
ブルキナファソ	1,966	212	10.8	NmW135	2
チャド	1,043	67	6.4	NmA	6
コートジボワール	281	39	13.9	NmW135	1
ガーナ	369	37	10	NmW135	3

- 1 第10疫学週までのデータ(ガーナは第9週まで)。
- 2 髄膜炎菌性疾患の強化サーベイランスを実施しているアフリカ髄膜炎ベルトの14カ国は、ベニン、ブルキナファソ、カメルーン、中央アフリカ、チャド、コートジボワール、コンゴ、エチオピア、ガーナ、マリ、ニジェール、ナイジェリア、スーダン及びトーゴである。

これらのアウトブレイクは、14カ国が実施しているアフリカ髄膜炎ベルトの強化サーベイランスの一部として検出され、639例の死亡例を含む計6.685例の髄膜炎疑い例が報告された。

アウトブレイクは主にNeisseria meningitidis(Nm)の血清群W135によるものであった。チャドにおいては1地区ではNmW135がアウトブレイクを引き起こしていたが、主要な病原体はNmAであった。NmAはサハラ以南のアフリカにおいては常に流行の主たる原因となっているが、NmW135によるアウトブレイクは、2002年以来この地域で起こっている。

各国ではこれらのアウトブレイクに対し、強化サーベイランスの実施、患者の治療強化と集団ワクチン接種キャンペーンの実施によって対応している。髄膜炎流行制御に対するワクチン供給のための国際調整グループ(International Coordinating Group: ICG)は、コートジボワールに117,500接種分のACW多糖体ワクチンを、ガーナに195,540接種分のACYW多糖体ワクチンを、チャドに359,000接種分の結合型Aワクチンを、接種用の資材と必要に応じてセフトリアキソン(抗生物質)とともに供給することを承認した。ICGは国際連合児童基金(UNICEF)、国境なき医師団(Médecins Sans Frontieres: MSF)、国際赤十字・赤新月社連盟(International Federation of Red Cross and Red Cresent Societies: IFRC)とWHOで構成される。

WHOは、当該国の保健省や他の協力機関と連携しながら流行状況の厳重な監視を継続する。

NmW135のアウトブレイクに対応する適切なワクチンの供給は現在限られており、WHOとUNICEFはこの備蓄を維持しアウトブレイクが広がるような状況下では適切な供給を確保できるよう、ワクチン製造業者と密接に協力している。

旅行者に対しては、ワクチン接種を最適な状態に保ち、WHOの旅行に関するアドバイスに従うことの重要性についての注意喚起が行われている。WHOは、アフリカ髄膜炎ベルトに位置する国への旅行を計画している者は、この流行性の疾患の4つの血清群に対応するワクチン(ACYW135 4価ワクチン)を受けるよう強調している。

鳥インフルエンザ - インドネシアにおける状況

2012年3月26日 - 更新

インドネシア保健省は、鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)の新たな1例のヒト感染症例をWHOに報告した。

症例は西ヌサ・トゥンガラ(Nusa Tenggara Barat)州の17歳男性で、2月28日に発熱し、3月1日に受診・治療を受けた。その後、状態が悪化し鳥インフルエンザ指定病院に移送されたが、9日に死亡した。

疫学的調査によると、症例の住居や近隣で家禽の突然死が確認されている。 インドネシアでは2005年以来188例が確定診断され、そのうち156例が死亡している。



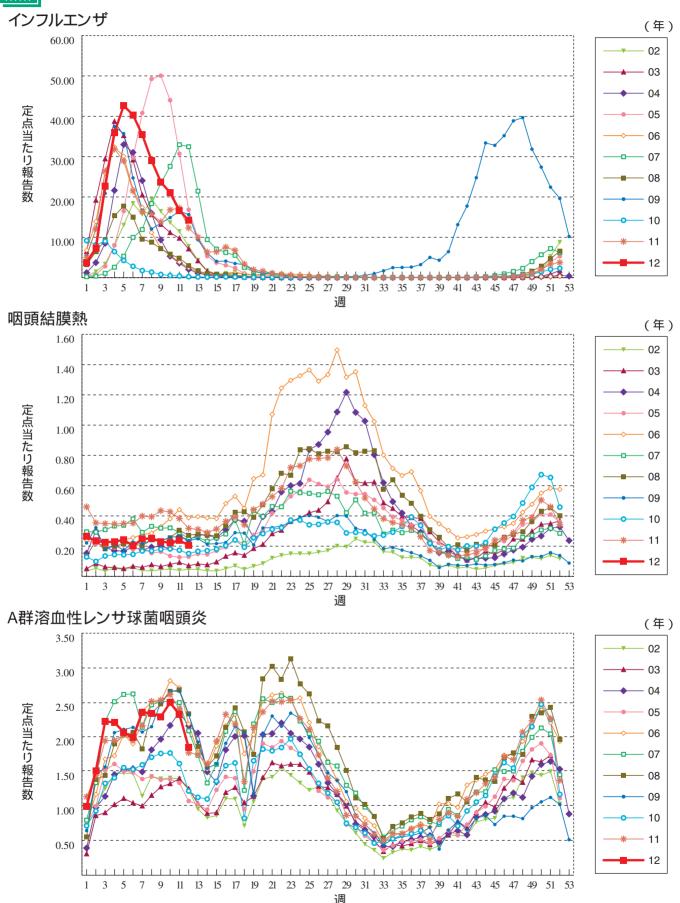
感染症の話

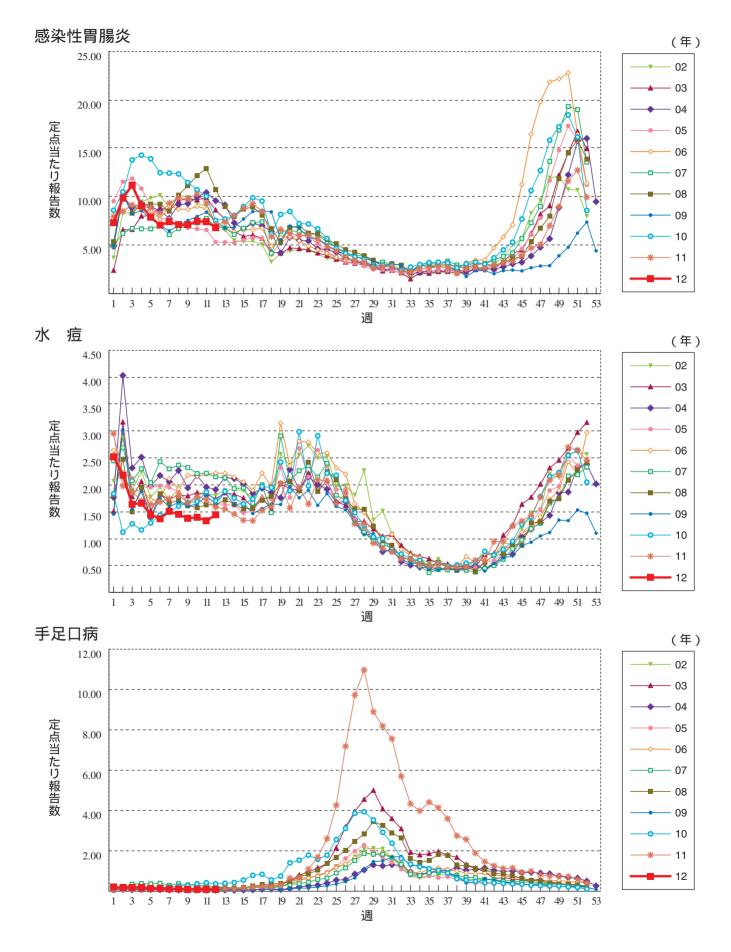
今週はお休みさせていただきます。 「感染症の話」過去の掲載分については http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html でご覧いただけます。

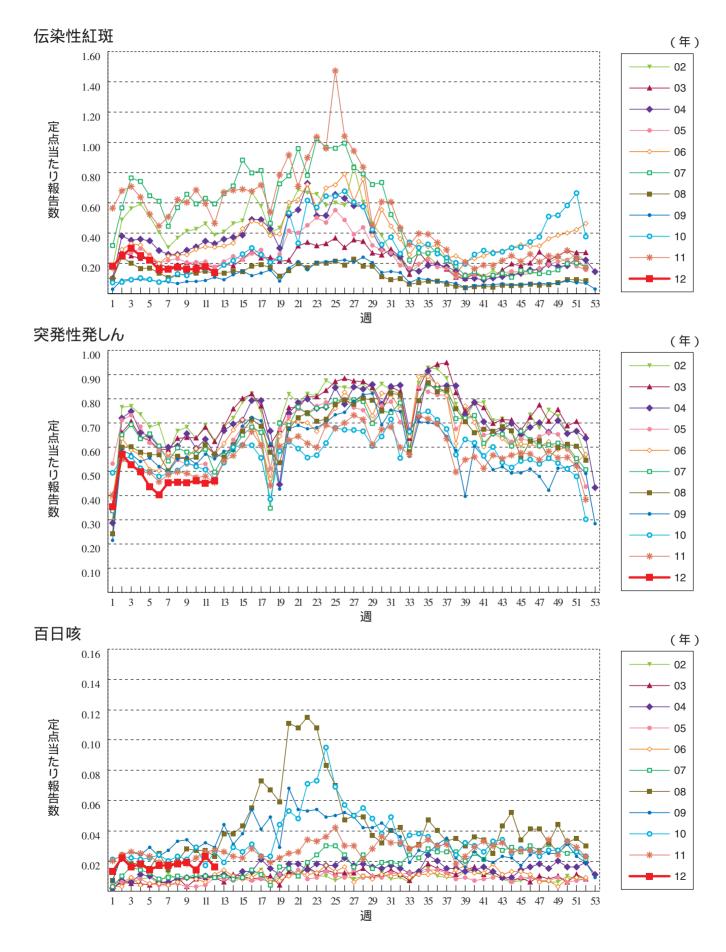


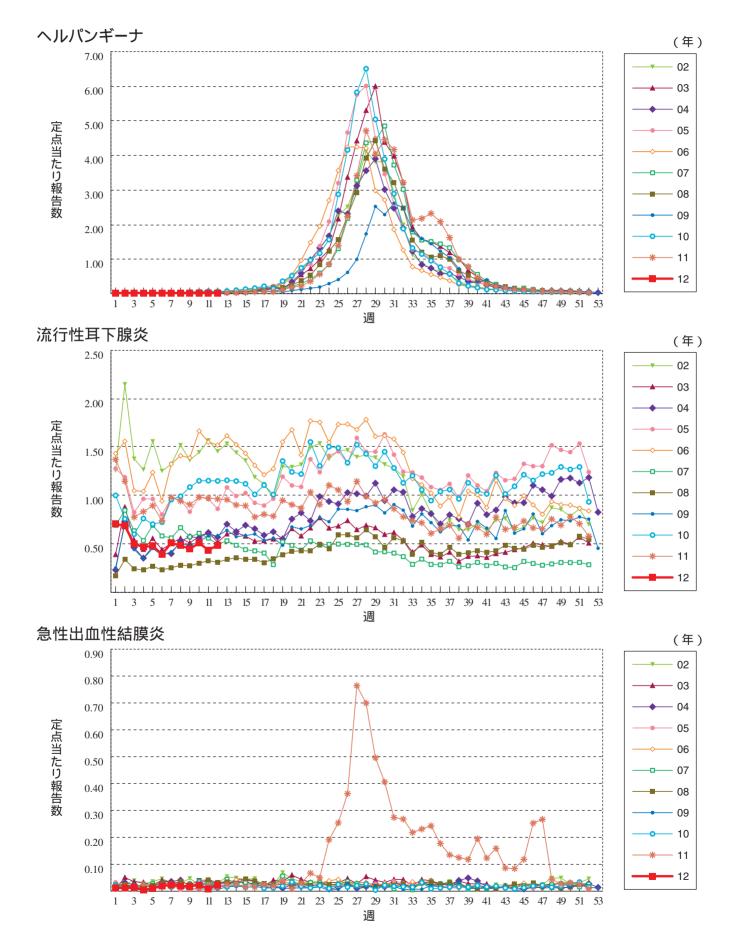


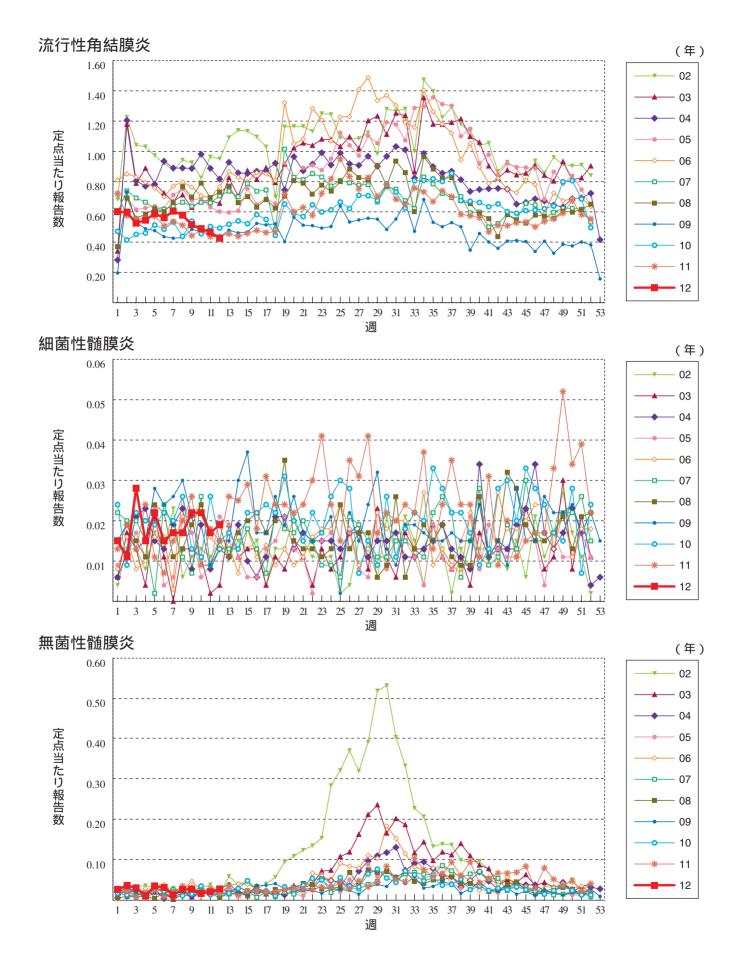
グラフ総覧(12週)

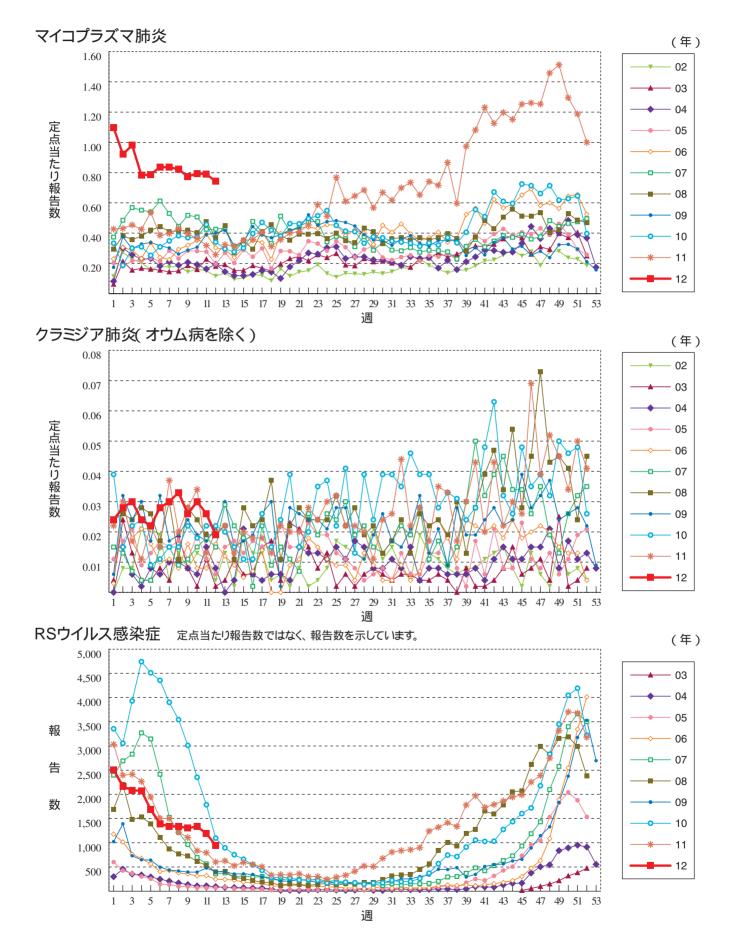
















12**週のデータ**

注)表中の報告数は3月28日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別 2012年12週

	エボラと	出血熱	クリミ ・コンゴ!	ミア 出血熱	痘 そ	·う	南米出	血熱	ペス	۲	マールブ	ルグ病	ラッサ	対熱	急性灰白	日髄炎	結	核
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	324	6019
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	178
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	101
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	46
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	87
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	53
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	49
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	60
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	139
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	82
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	44
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	279
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	302
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	914
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	457
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	69
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	57
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	36
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	37
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
長野県	_	-	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_	-	_	-	6	67
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	108
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	120
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	372
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	69
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-	_	-	4	61
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	137
大阪府	-	_	-	_	_	_	_	_	_	-	_	_	-	-	_	_	11	293
兵庫県	-	_	-	_	_	_	_	_	_	-	_	_	-	-	_	_	18	236
奈良県	-	_	-	_	_	_	_	_	_	-	_	_	-	-	_	_	_	59
和歌山県	-	_	-	-	_	_	_	_	_	-		_	_	-	_	_	4	83
鳥取県	-		-													_		22
島根県		_				_		_	_	_			_	_	_		1	74
岡山県	-	-	-	-	_	_	_	_	-	-	_	-	_	-	_	-	4	78
広島県	-	-	-	-	-	_	_	_	-	-	-	-	_	-	_	-	2	150
山口県		_			_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	1	96
徳島県		_													_		3	64
香川県																		33
愛媛県																	4	63
高知県																	-	23
福岡県			_							_			_	_	_		14	278
佐賀県																	3	34
長崎県																	4	100
熊本県																	-	77
大分県																	3	71
宮崎県																	2	58
声响乐 一声一声 鹿児島県																	15	90
					-													
沖縄県	-			-		-	-			-						-	4	85

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別

	ジフテ	リア	重症症 呼吸器症	急性 E候群*	鳥イン エンザ(コレ	ラ	細菌性	赤痢	腸管出 大腸菌原		腸チ	フス	パラチ	フス	E型朋	Ŧ炎
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	1	7	66	25	137	1	6	-	4	1	33
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	5	-	-	-	-	1	17
 青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	6	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
· 	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
詳馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	1
奇玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-
 F葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	20	1	8	-	3	-	1	-	5
申奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	5	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
5川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
 畐井県	_	_	-	_	_	_	_	_	_	1	_	3	-	-	_	_	_	_
山梨県	_	_	-	_	_	_	_	_	_	1	_	_	-	-	_	_	_	_
長野県	_	_	-	_	_	_	_	_		-		1	-	-	_	-	_	_
支阜県			-							1			-					
 	_	_		_		_		_		_		2		_		_	_	1
愛知県		_	-							-	1	3	-	_		_	_	_
 E重県	_	_		_		_		_		_		1		_		_	_	2
滋賀県	_		_							_	1	1	_			_	-	_
京都府	_		_							_		1	_			_	-	
大阪府	_			_					1	23		8				2	_	1
兵庫県			_	_	_		_		1	1		1	_	1			_	1
奈良県	_			_		-		-								-	-	-
和歌山県	_	-		_	_	-		-		1				_		-	-	_
鳥取県	_																	
島根県				_							1	3					-	
可山県	_											3	1	1			-	
点島県		_		_					1	2		1	-	<u> </u>		_	_	
<u> </u>									<u> </u>			10						
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·												-						
香川県												1					-	
ョ <u>バルボールー</u> 愛媛県																	-	
500年 第知県																		
副四県 国岡県												31		_		_		
生賀県												-						
 長崎県										1		2						
*************************************									1	1	12	13						1
大分県										1	-	-						
マステー 三崎県										<u>'</u>								
5呵乐 												3						
2.1.1四氘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別 2012年12週

一	ウエスト:		A型	 肝炎	エキノコ・	ックス症	黄	熱	オウム	油病	オムスク	出血熱	回帰	熱	キャサ 森 材			<u></u> 熱
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	29	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-			1					-				-		-			-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-		-	-	-				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県 広島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県 一 徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県 愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-			-
高知県		-			-		-	-			-			-	-			-
福岡県 佐賀県	-	-	-	1 -	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-		-	-
佐貝宗 長崎県	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	
長崎宗 熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	- 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-
	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別 2012年12週

一	狂力	·····································	コクシオイデ	 /ジ ス症	サル	 / 痘	腎症候性	出血熱	西部ウ	7脳炎	ダニ媒	介脳炎	炭	疽	チクンク	ニア熱	つつが	虫病
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別

	デン	グ熱	東部ウ	マ脳炎	鳥インフノ	レエンザ*	ニパウ 感 ¾	イルス k 症	日本紅	斑熱	日本	脳炎	ハンタウ 肺症	7イルス 候群	Bウイノ	レス病	鼻	疽
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	_	-	_	-	_	-	-	_	-	_	_	-	-	-

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別 2012年12週

和口奴 系信	プルt		ベネズ ウマ!!	エラ 当炎	ヘンドラ [・] 感 染	ウイルス ま症	発しん	チフス	ボツリ	スス症	マラ	リア	野勇		ライム	カ病	リッサウ 感 染	2012年12月 イルス 症
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-		-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-
和歌山県																		-
鳥取県	-		-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県		-		-	-		-				-		-					-
岡山県 広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県 	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-		-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県 佐賀県	-	-	-	-		-	-	-			-	-	-	-	-			-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-		-			-	-				-	-	-	-			-
大分県	-	-		-			-	-				1	-	-	-		-	-
宮崎県	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別

			1				1		T									2012年1
	リフトバ	レー熱	類鼻	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	レジオ	ネラ症	レプトス	ピラ症	ロッキ 紅 斑		アメーノ	「赤痢	ウイルス	性肝炎*	急性脳	谈**	クリフ スポリジ	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	5	144	-	1	-	-	10	191	1	42	3	138	-	4
上海道	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	1	4	-	1	-	8	-	-
素架	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
当手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
大田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
 	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
	_	_	_	-	1	4	_	_	-	-	_	2	_	1	-	10	_	_
5木県	_	_	_	-	_	_	_	_	-	-	_	2	_	_	-	3	_	_
#馬県	_	_	_	_	_	3	_	_	_	_	-	1	_	-	1	5	-	_
·····································					1	7						10	-			9		
- <u></u> -葉県						3						9		1	1	20		
 東京都					_	11		1			4	41		11		11		1
申奈川県					1	10		<u> </u>			2	14	1	2		4	_	<u> </u>
所潟県					-	4						4	-	1		8	-	
加州 国山県						4									1	2		
					_	4						1	_		<u> </u>			
-///ボ 計県						8						1		2		1		
# <u>************************************</u>						1						<u>'</u>				<u>'</u>		
- **** ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・						1						3		1		1		
マヨゲ宗 女阜県						1						4		1		<u>'</u>		
* 											-							
デビス 		-	-		-	5		-	-		1	4	-	-		8		-
ミル宗 -重県			-		-	4			-			5	-	1 -	-	4		-
	-				-	2	-			-	-	3	-				-	3
対 関果	-		-	-	-	2	-		-	-	-	5	-	-	-	3	-	
都府	-		-	-	-	3	-		-		-	4	-	2	-	7	-	
大阪府	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	22	-	5	-	7	-	
兵庫県		-			-	2		-	-		-	3	-	1	-	2		
R 良県	-	-	-			-		-	-		-	1	-		-			
歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
品取県 	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
楊根県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
可山県 一	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
島県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	1	7	-	1	-	5	-	-
山口県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
5島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
訓県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
發展	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岡県	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	6	-	4	-	3	-	-
E賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
[本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
分県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4	-	-
 I崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-
				_	_	2					1	3				3		
記島県	_																	

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別

拟口奴、然惧	! FIX CD \$X , 15	大1内 110	旦 的宋加															2012年12년
	クロイツ・ヤニ		劇症型 レンサ球		後天性免 症 何	疫不全 詳群	ジアル	ジア症	髄膜炎 髄 膜	:菌性 : 炎	先天性 症 何		梅	毒	破傷	三国	バンコマイ: 黄色ブドウ	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	42	1	74	11	289	1	8	-	4	-	-	6	176	1	17	-	-
北海道	-	2	-	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-
青森県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	1	-	-	1	7	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
栃木県	-	2	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	1	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	1	-	15	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-
千葉県	-	3	-	5	-	8	-	-	-	-	-	-	2	5	-	1	-	-
東京都	1	4	-	4	6	93	-	3	-	-	-	-	1	61	-	-	-	-
神奈川県	-	3	-	1	-	12	-	-	-	1	-	-	-	10	-	5	-	-
新潟県	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
長野県	-	1	1	3	1	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	6	-	25	-	1	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	3	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-
大阪府	-	2	-	1	-	38	1	2	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-
兵庫県	1	1	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	8	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	4	2	5	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別

報告数・累積報	设告数 ,疫	病・都証	道府県別			2012年12週
	バンコマイ 腸球菌症		風し	h	麻し	h
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	20	1	91	3	86
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	3	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	5
群馬県	-	1	-	1	-	-
埼玉県	-	1	-	2	-	4
千葉県	-	1	-	6	-	9
東京都	-	3	-	13	1	14
神奈川県	-	2	-	4	1	5
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	1	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	3	1	28
三重県	-	-	-	2	-	1
滋賀県	-	-	-	2	-	1
京都府	-	2	-	5	-	-
大阪府	-	4	1	22	-	3
兵庫県	-	-	-	14	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	5
広島県	-	-	-	2	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	2	-	4	-	-
 佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	2	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	_	-	_	_	_	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	_
沖縄県	_	1	_	_	_	

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数,疾病・都道府県別

報告数・定点	当り報告	数,疾病	・都道府	県別														2012年12词
	インフノ	レエンザ*	咽頭	結膜熱		容血性 (菌咽頭炎		上胃腸炎	水	痘	手足	2口病	伝染物	生紅斑	突発性	生発しん	百日	咳
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数 5	E点当り
総数	69978	14.21	648	0.21	5806	1.85	21495	6.83	4534	1.44	248	0.08	436	0.14	1452	0.46	51	0.02
北海道	4989	21.98	46	0.32	574	4.01	468	3.27	172	1.20	11	0.08	9	0.06	41	0.29	2	0.01
青森県	856	13.17	7	0.17	107	2.55	125	2.98	56	1.33	1	0.02	1	0.02	15	0.36	-	-
岩手県	1521	24.14	3	0.08	87	2.18	155	3.88	31	0.78	-	-	17	0.43	16	0.40	-	-
宮城県	2056	22.11	16	0.28	150	2.59	573	9.88	76	1.31	-	-	4	0.07	29	0.50	1	0.02
秋田県	1287	23.40	13	0.37	49	1.40	193	5.51	27	0.77	1	0.03	-	-	S	0.26	1	0.03
山形県	1474	30.71	1	0.03	99	3.30	223	7.43	62	2.07	-	-	5	0.17	20	0.67	-	-
福島県	2741	34.26	17	0.35	127	2.65	297	6.19	38	0.79	2	0.04	9	0.19	21	0.44	-	-
茨城県	1925	16.04	7	0.09	114	1.52	419	5.59	68	0.91	2	0.03	1	0.01	17	0.23	-	-
栃木県	1571	20.67	1	0.02	25	0.52	108	2.25	13	0.27	5	0.10	6	0.13	21	0.44	1	0.02
群馬県	1748	17.84	10	0.17	103	1.72	387	6.45	73	1.22	1	0.02	9	0.15	28	0.47	-	-
埼玉県	4062	16.85	20	0.13	263	1.69	1166	7.47	250	1.60	14	0.09	7	0.04	75	0.48	1	0.01
千葉県	2896	13.99	33	0.26	219	1.72	941	7.41	159	1.25	11	0.09	8	0.06	55	0.43	5	0.04
東京都	4952	11.88	59	0.22	386	1.47	2020	7.68	351	1.33	9	0.03	28	0.11	105	0.40	4	0.02
神奈川県	4484	13.51	14	0.07	211	1.00	1454	6.92	211	1.00	4	0.02	32	0.15	94	0.45	3	0.01
新潟県	2280	24.00	19	0.32	101	1.68	357	5.95	90	1.50	22	0.37	12	0.20	40	0.67	-	-
富山県	475	9.90	19	0.66	167	5.76	210	7.24	33	1.14	11	0.38	6	0.21	12	0.41	-	-
石川県	685	14.27	6	0.21	86	2.97	216	7.45	58	2.00	6	0.21	-	-	10	0.34	1	0.03
福井県	815	25.47	5	0.23	67	3.05	126	5.73	58	2.64	5	0.23	4	0.18	6	0.27	3	0.14
山梨県	288	7.20	2	0.08	64	2.67	142	5.92	20	0.83	-	-	1	0.04	5	0.21	-	-
長野県	924	10.50	4	0.07	118	2.15	234	4.25	72	1.31	2	0.04	14	0.25	20	0.36	-	-
岐阜県	540	6.21	16	0.30	57	1.08	212	4.00	59	1.11	2	0.04	11	0.21	16	0.30	-	-
静岡県	1659	12.11	3	0.03	123	1.43	437	5.08	160	1.86	-	-	5	0.06	36	0.42	1	0.01
愛知県	1393	7.14	35	0.19	260	1.44	1007	5.56	291	1.61	15	0.08	29	0.16	100	0.55	4	0.02
三重県	462	6.42	14	0.31	94	2.09	282	6.27	75	1.67	4	0.09	2	0.04	32	0.71	-	-
滋賀県	766	14.45	5	0.16	69	2.16	220	6.88	55	1.72	18	0.56	1	0.03	16	0.50	-	-
京都府	1597	12.88	5	0.07	112	1.49	405	5.40	78	1.04	11	0.15	9	0.12	28	0.37	1	0.01
大阪府	4002	13.47	10	0.05	281	1.45	1245	6.42	297	1.53	11	0.06	26	0.13	87	0.45	7	0.04
兵庫県	3488	17.53	12	0.09	158	1.22	822	6.37	213	1.65	2	0.02	25	0.19	47	0.36	2	0.02
奈良県	475	8.64	4	0.11	28	0.80	150	4.29	15	0.43	2	0.06	1	0.03	7	0.20	-	-
和歌山県	629	12.58	-	-	15	0.48	151	4.87	47	1.52	1	0.03	6	0.19	16	0.52	-	-
鳥取県	384	13.24	4	0.21	82	4.32	120	6.32	38	2.00	2	0.11	21	1.11	13	0.68	-	-
島根県	246	6.47	5	0.22	24		183		36	1.57	-		10		22	0.96	-	-
岡山県	814		8		43		427		61	1.13	14		13		17		-	-
広島県	485	4.22	15	0.21	147	2.04	726	10.08	69	0.96	1	0.01	14	0.19	38	0.53	5	0.07
山口県	195		11		112			12.27	75		-		11		32		-	-
徳島県		14.50	9		37	1.61	160		50		2		14		17		-	-
香川県	530	10.82	14	0.47	25	0.83	251	8.37	35	1.17	5	0.17	3	0.10	15		-	-
愛媛県		11.48	6	0.16	96			10.32	51	1.38	5		20		20		-	-
高知県	402		-		81	2.70	197		60		1			0.40	15			0.13
福岡県		14.34	56		313			12.59	275		1	0.01		0.03	81		1	0.01
佐賀県		23.61	12		42		191	8.68	43		-	-	1		13		-	-
長崎県		14.26	12		65		291	6.61	56		-	-		0.07	22		-	-
熊本県		11.83	32		67	1.40	478		106		-			0.04	37		-	-
大分県		11.90	3		131	3.64		11.94	56		1		11		20		-	-
宮崎県	506	8.58	27	0.75	101	2.81	362	10.06	111	3.08	3	0.08	2	0.06	31	0.86	-	-
鹿児島県	992	10.78	25	0.46	94	1.74	388	7.19	153	2.83	11	0.20	2	0.04	19	0.35	2	0.04
沖縄県	763	13.16	3	0.09	32	0.94	64	1.88	51	1.50	29	0.85	6	0.18	16	0.47	2	0.06

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数,疾病・都道府県別

報告数・定点	当り報告	数	,疾病	・都道府	県別 ————													2012年12
	ヘルハ	パン	ギーナ	流行性	耳下腺炎		出血性 膜炎	流行性	角結膜炎	細菌性	髓膜炎*	無菌性	髄膜炎		プラズマ 炎		ミジア 炎	RSウイルス 感 染 症
	報告数	定	三点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	47	7	0.01	1536	0.49	16	0.02	289	0.43	9	0.02	13	0.03	344	0.74	Ç	0.02	950
北海道	1	ı	0.01	19	0.13	-	-	13	0.45	-	-	-	-	12	0.52			32
青森県		-	-	26	0.62	-	-	11	1.00	-	-	-	-	10	1.67			5
岩手県		-	-	36	0.90	-	-	4	0.29	-	-	-	-	19	1.00			6
宮城県		-	-	52	0.90	-	-	5	0.42	2	0.17	-	-	28	3 2.33			3
秋田県		-	-	13	0.37	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.63			9
山形県		-	-	36	1.20	-	-	-	-	-	-	-	-	7	0.70			-
福島県	1	ı	0.02	12	0.25	-	-	8	0.67	-	-	-	-	6	0.86	•	0.14	12
茨城県	1	ı	0.01	26	0.35	1	0.06	17	1.00	-	-	-	-	3	0.23			-
栃木県		-	-	8	0.17	1	0.08	7	0.58	-	-	-	-	7	1.00	3	3 0.43	-
群馬県	1	ı	0.02	61	1.02	-	-	9	0.64	-	-	-	-	12	1.50			2
埼玉県	1	ı	0.01	38	0.24	-	-	23	0.56	2	0.22	1	0.11	19	2.11			15
千葉県	2	2	0.02	36	0.28	1	0.03	5	0.14	-	-	1	0.11	8	0.89			18
東京都	3	3	0.01	44	0.17	-	-	10	0.26	-	-	3	0.13	15	0.63			31
神奈川県		-	-	62	0.30	-	-	25	0.57	-	-	2	0.22	1	0.11			15
新潟県		-	-	45	0.75	2	0.20	8	0.80	-	-	-	-	9	0.69	2	2 0.15	12
富山県		-	-	4	0.14	-	-	1	0.14	-	-	-	-	3	0.60			4
石川県		-	-	7	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.80			5
福井県		-	-	4	0.18	-	-	-	-	-	-	2	0.33	3	0.50			3
山梨県		-	-	13	0.54	-	-	4	0.44	-	-	-	-	2	0.20			2
長野県		-	-	16	0.29	-	-	3	0.27	-	-	-	-	12	1.09			3
 岐阜県		-	-	51	0.96	-	-	4	0.36	-	-	-	-	2	0.40			19
静岡県		-	-	52	0.60	-	-	_	_	_	-	-	-	3	0.33			22
	1	1	0.01	79	0.44	-	-	15	0.44	_	-	-	-	25	1.92			70
三重県	1	ı	0.02	38	0.84	-	-	2	0.17	-	-	-	-	1	0.11			6
滋賀県	1	ı	0.03	10	0.31	-	-	3	0.38	-	-	-	-	3	0.43			4
京都府	1	ı	0.01	21	0.28	-	-	7	0.39	-	-	-	-					8
大阪府	4	1	0.02	38	0.20	3	0.06	4	0.08	1	0.07	-	-	g	0.60			127
兵庫県	1	ı	0.01	49	0.38	3	0.09	11	0.31	1	0.09	-	-	14	1.27			49
奈良県	1	ı	0.03	22	0.63	-	-	2	0.22	-	-	-	-					6
和歌山県		-	-	6	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-	10	0.91			27
鳥取県		-	-	22	1.16	-	-	1	0.33	-	-	-	-	2	0.40			-
島根県		-	-	12	0.52	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.25			7
岡山県	1	1	0.02	23	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.00	,	1 0.20	3
広島県	2	2	0.03	26	0.36	-	-	19	1.00	-	-	-	-	6	0.29			28
山口県	2	2	0.04	53	1.10	-	-	2	0.22	-	-	-	-	6	0.67			64
徳島県	2	2	0.09	26	1.13	-	-	-	-	-	-	1	0.20	2	2 0.40			27
香川県	1	1	0.03	8	0.27	-	-	1	0.33	-	-	-	-	2	2 0.40			15
愛媛県		-	-	47	1.27	-	-	12	1.50	-	-	-	-	7	1.17			22
高知県		-	-	21	0.70	-	-	1	0.33	-	-	-	-	3	0.43	,	0.14	25
福岡県	5	5	0.04	106	0.88	1	0.04	17	0.65	2	0.13	1	0.07	1	0.07			95
 佐賀県		-	-	33	1.50	-	-	1	0.25	-	-	-	-	8	1.33			9
長崎県	1	1	0.02	37	0.84	2	0.25	3	0.38	-	-	-	-	5	0.42			27
熊本県	5	5	0.10	44		-		8			_	-	-					12
大分県		3	0.08	36		-	-				_	-	-	1	0.09			5
宮崎県		2	0.06	72		1	0.17	9	1.50	1	0.14	1	0.14		0.14		1 0.14	22
鹿児島県		1	0.02	38		-	-	4				-	-		3 0.67			44
沖縄県					0.24	1	0.10		1.00		_	1	0.14		3 4.71			30
		•																

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別 2012年12週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)					結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢		
-	サル		サル		プレーリ・		イタチア		タヌ		ハクビ	シン	サル		鳥类		サル	
-			報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数		報告数		報告数	累積	報告数		報告数	
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-		-	-	-				-	-	-		-		-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県 ―――― 岐阜県	-	-	-		-	-	-		-		-		-		-		-	1
静岡県																		
愛知県													-					
三重県									_						_			
滋賀県									_									_
京都府									_						_			-
大阪府	_			_		_	_		_		_		_	_	_	_	_	-
兵庫県	-	-	-	-	_	_	_	-	_	-	-	-	_	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



報告数・累積報告数 疾病・都道府県別 2012年12週

報告数・累積	責報告数,疾	病・都道	道府県別	2012年12週			
	ウエストナ	トイル熱	エキノコ・	ックス症			
	鳥類	Į.	犬				
	報告数	累積	報告数	累積			
総数	-	-	-	-			
北海道	-	-	-	-			
青森県	-	-	-	-			
岩手県	-	-	-	-			
宮城県	-	-	-	-			
秋田県	-	-	-	-			
山形県	-	-	-	-			
福島県	-	-	-	-			
茨城県	-	-	-	-			
栃木県	-	-	-	-			
群馬県	-	-	-	-			
埼玉県	-	-	-	-			
 千葉県	-	-	-	-			
東京都	-	-	-	-			
神奈川県	-	-	-	-			
 新潟県	_	-	-	-			
富山県	-	-	_	-			
石川県	_		-	_			
福井県	_	-	-	-			
山梨県	_	-	_	-			
長野県	_		_	_			
岐阜県				-			
静岡県	_	-		-			
数1.371 愛知県	_			_			
三重県	_			_			
滋賀県				_			
京都府	_	_		-			
大阪府				_			
兵庫県	_	-	_	-			
<u> </u>		_		-			
和歌山県				_			
鳥取県							
島根県				-			
岡山県							
広島県							
山口県							
出口尔 徳島県				_			
香川県							
ョバネ 愛媛県				_			
多级乐 高知県							
回州宗 福岡県							
^{抽叫宗} 佐賀県							
長崎県	-	-	-	-			
熊本県 	-	-	-	-			
大分県	-	-	-	-			
宮崎県	-	-	-	-			
鹿児島県	-	-	-	-			
沖縄県 ————	-	-	-	-			

感染症週報 第14巻 第12号 2012年4月6日発行

発 行:国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局:国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L: 03-5285-1111 FAX: 03-5285-1129

URL: http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

< 国立感染症研究所 感染症情報センター>

http://www.mhlw.go.jp/

<厚生労働省>

http://www.forth.go.jp/

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医 療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別 区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力 を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて 編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調 査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありま すが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容 に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属します が、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお 受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公 衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断 転載を禁じます。